

LM・ユーロ 毎月分配型ファンド

運用報告書（全体版）

| | | |
|-------|-----|-------------|
| 第178期 | 決算日 | 2017年6月19日 |
| 第179期 | 決算日 | 2017年7月18日 |
| 第180期 | 決算日 | 2017年8月18日 |
| 第181期 | 決算日 | 2017年9月19日 |
| 第182期 | 決算日 | 2017年10月18日 |
| 第183期 | 決算日 | 2017年11月20日 |

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

| | | |
|--------|---|---|
| 商品分類 | 追加型投信／海外／債券 | |
| 信託期間 | 無期限 | |
| 運用方針 | 主としてユーロ建て債券に投資し、ユーロ短期金利を上回るインカムゲインを獲得することにより、ユーロ短期金利水準の分配を毎月行い、ユーロ原資産元本の安定した運用成果を目指します。 | |
| 主要運用対象 | 当ファンド | 「LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。 |
| | LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド | 主としてユーロ建ての欧州の国債、政府機関債、国際機関債、事業債、金融債、モーゲージ証券および資産担保証券等を主要投資対象とします。 |
| 組入制限 | 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 | |
| 分配方針 | 決算日（原則として毎月18日、休業日の場合は翌営業日）に、収益分配方針に基づいて分配を行います。 | |

－ 受益者のみなさまへ －

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「LM・ユーロ毎月分配型ファンド」は、2017年11月20日に第183期の決算を行いましたので、第178期、第179期、第180期、第181期、第182期、第183期の運用状況と収益分配金をご報告申し上げます。
今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社

〒100-6536 東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

<http://www.leggmason.co.jp>

当報告書に関するお問い合わせ先：

レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社

お問い合わせ窓口

電話番号：03-5219-5947

○最近30期の運用実績

| 決算期 | 基準 (分配落) | 標準価額 | | | 債 組 入 比 | 券 率 | 債 先 物 比 | 券 率 | 純 資 産 額 |
|-------------------|-------------|--------|--------|-------------|------------------|--------|------------------|--------|------------------|
| | | 税 分 | 込 配 | み 騰 落 | | | | | |
| | 円 | 円 | % | % | % | % | 百万円 | | |
| 154期(2015年6月18日) | 7,807 | 40 | 2.6 | 94.7 | △ 5.1 | | 2,914 | | |
| 155期(2015年7月21日) | 7,446 | 40 | △4.1 | 87.2 | △ 5.2 | | 2,743 | | |
| 156期(2015年8月18日) | 7,577 | 40 | 2.3 | 86.0 | △ 5.1 | | 2,904 | | |
| 157期(2015年9月18日) | 7,469 | 40 | △0.9 | 90.9 | △ 4.9 | | 2,704 | | |
| 158期(2015年10月19日) | 7,391 | 20 | △0.8 | 94.0 | △ 4.8 | | 2,786 | | |
| 159期(2015年11月18日) | 7,137 | 20 | △3.2 | 96.0 | △ 4.7 | | 2,738 | | |
| 160期(2015年12月18日) | 7,198 | 20 | 1.1 | 92.7 | △ 4.2 | | 2,816 | | |
| 161期(2016年1月18日) | 6,906 | 20 | △3.8 | 94.7 | △ 4.3 | | 2,646 | | |
| 162期(2016年2月18日) | 6,839 | 20 | △0.7 | 94.6 | △ 4.4 | | 2,574 | | |
| 163期(2016年3月18日) | 6,759 | 20 | △0.9 | 96.5 | △ 4.0 | | 2,511 | | |
| 164期(2016年4月18日) | 6,539 | 20 | △3.0 | 95.5 | △ 4.1 | | 2,379 | | |
| 165期(2016年5月18日) | 6,575 | 20 | 0.9 | 97.1 | △ 4.2 | | 2,358 | | |
| 166期(2016年6月20日) | 6,332 | 20 | △3.4 | 98.4 | △ 3.7 | | 2,240 | | |
| 167期(2016年7月19日) | 6,228 | 20 | △1.3 | 97.3 | △ 3.8 | | 2,166 | | |
| 168期(2016年8月18日) | 5,968 | 20 | △3.9 | 99.1 | △ 3.9 | | 2,049 | | |
| 169期(2016年9月20日) | 6,008 | 20 | 1.0 | 98.3 | △ 4.0 | | 2,039 | | |
| 170期(2016年10月18日) | 6,008 | 20 | 0.3 | 97.7 | △ 4.0 | | 2,001 | | |
| 171期(2016年11月18日) | 6,123 | 20 | 2.2 | 89.0 | △ 4.1 | | 2,015 | | |
| 172期(2016年12月19日) | 6,417 | 20 | 5.1 | 96.3 | △ 3.6 | | 2,064 | | |
| 173期(2017年1月18日) | 6,277 | 20 | △1.9 | 92.6 | △ 3.7 | | 1,989 | | |
| 174期(2017年2月20日) | 6,211 | 20 | △0.7 | 97.5 | △ 3.7 | | 1,953 | | |
| 175期(2017年3月21日) | 6,251 | 20 | 1.0 | 98.6 | △ 3.2 | | 1,910 | | |
| 176期(2017年4月18日) | 5,982 | 20 | △4.0 | 97.5 | △ 8.5 | | 1,810 | | |
| 177期(2017年5月18日) | 6,358 | 20 | 6.6 | 104.8 | △ 8.7 | | 1,890 | | |
| 178期(2017年6月19日) | 6,349 | 20 | 0.2 | 98.5 | △ 8.1 | | 1,855 | | |
| 179期(2017年7月18日) | 6,580 | 20 | 4.0 | 88.6 | △ 7.4 | | 2,131 | | |
| 180期(2017年8月18日) | 6,520 | 20 | △0.6 | 94.1 | △30.4 | | 2,927 | | |
| 181期(2017年9月19日) | 6,747 | 20 | 3.8 | 95.0 | △40.7 | | 3,255 | | |
| 182期(2017年10月18日) | 6,662 | 20 | △1.0 | 71.3 | △32.4 | | 4,099 | | |
| 183期(2017年11月20日) | 6,622 | 20 | △0.3 | 83.5 | △41.2 | | 5,561 | | |

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注4) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率及びリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

| 決 算 期 | 年 月 日 | 基 準 | 価 額 | | 債 券 組 入 比 率 | 債 券 先 物 比 率 |
|-------|----------------------|------------|-------|--------|----------------|----------------|
| | | | 騰 落 率 | 率 | | |
| 第178期 | (期 首) 2017年5月18日 | 円 6,358 | | % — | % 104.8 | % △ 8.7 |
| | 5月末 | 6,355 | △0.0 | | 101.4 | △ 8.7 |
| | (期 末) 2017年6月19日 | 6,369 | 0.2 | | 98.5 | △ 8.1 |
| 第179期 | (期 首) 2017年6月19日 | 6,349 | | — | 98.5 | △ 8.1 |
| | 6月末 | 6,538 | 3.0 | | 97.2 | △ 8.2 |
| | (期 末) 2017年7月18日 | 6,600 | 4.0 | | 88.6 | △ 7.4 |
| 第180期 | (期 首) 2017年7月18日 | 6,580 | | — | 88.6 | △ 7.4 |
| | 7月末 | 6,608 | 0.4 | | 92.4 | △25.0 |
| | (期 末) 2017年8月18日 | 6,540 | △0.6 | | 94.1 | △30.4 |
| 第181期 | (期 首) 2017年8月18日 | 6,520 | | — | 94.1 | △30.4 |
| | 8月末 | 6,669 | 2.3 | | 96.7 | △30.1 |
| | (期 末) 2017年9月19日 | 6,767 | 3.8 | | 95.0 | △40.7 |
| 第182期 | (期 首) 2017年9月19日 | 6,747 | | — | 95.0 | △40.7 |
| | 9月末 | 6,719 | △0.4 | | 89.0 | △40.5 |
| | (期 末) 2017年10月18日 | 6,682 | △1.0 | | 71.3 | △32.4 |
| 第183期 | (期 首) 2017年10月18日 | 6,662 | | — | 71.3 | △32.4 |
| | 10月末 | 6,646 | △0.2 | | 76.9 | △39.8 |
| | (期 末) 2017年11月20日 | 6,642 | △0.3 | | 83.5 | △41.2 |

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

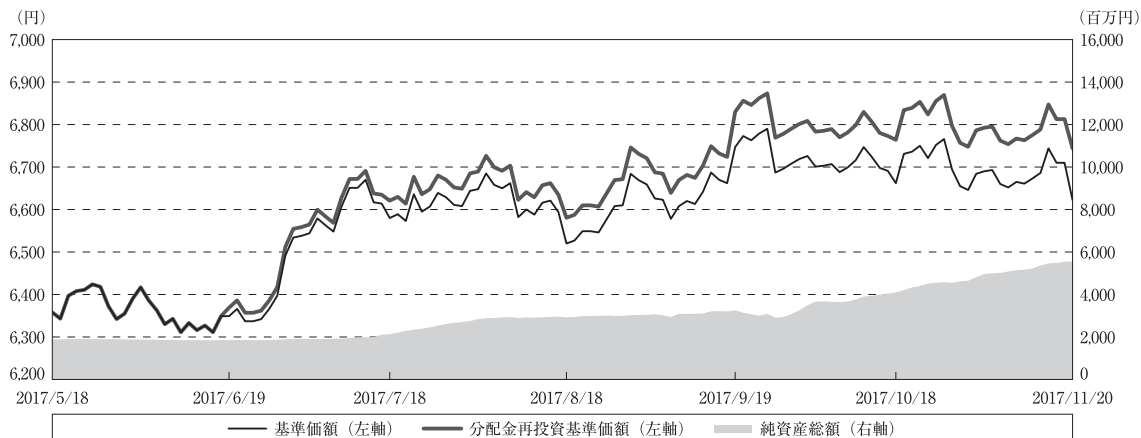
(注2) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

○運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2017年5月19日～2017年11月20日)



第178期首：6,358円

第183期末：6,622円 (既払分配金(税込み)：120円)

騰落率：6.1% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2017年5月18日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

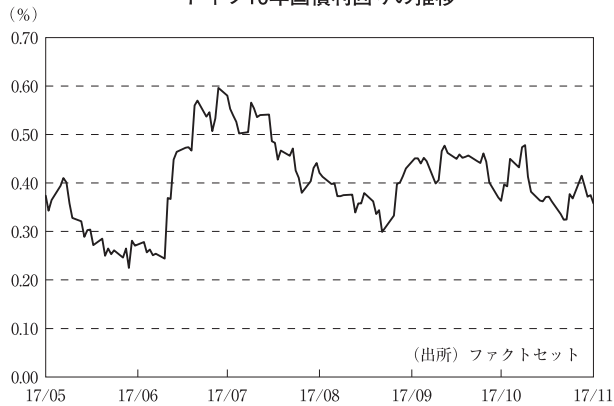
○基準価額の主な変動要因

当作成期末(2017年11月20日)のLM・ユーロ毎月分配型ファンド(以下、当ファンド)の基準価額(分配金控除後)は6,622円となりました。当作成期の当ファンドのパフォーマンス(騰落率)はプラス6.1%(分配金再投資ベース)、基準価額は384円(分配金込み)上昇しました。

公社債利金を手堅く確保しました。さらに、ユーロ高・円安を受けて為替損益もプラスとなりました。一方、公社債損益は小幅マイナスとなりました。

当作成期の欧州債券市場は、利回りが前期末比ほぼ変わらずとなりました。期の前半は、イタリアで総選挙が前倒しされるとの観測が高まり、欧州政局の不透明感が意識されたことなどから、欧州域内で相対的に安全資産とされるドイツ国債が買われ、利回りは低下（価格は上昇）しました。その後は、欧州中央銀行（ECB）のドラギ総裁が量的緩和政策を微調整する可能性を示唆し、緩和策縮小の時期が想定よりも早いとの見方が市場で広がったことから、利回りは上昇（価格は下落）しました。期の半ばは、米トランプ政権の政策運営に対する不透明感が広がり、米国国債券利回りが低下したことなどから、ドイツの債券利回りも低下しました。また、北朝鮮情勢の緊迫化が意識され、安全資産とされる国債を買う動きが強まったことも、利回りの低下要因となりました。期の後半は、スペイン北東部カタルーニャ自治州の独立問題を背景に安全資産とされる国債が買われ、利回りに一時低下圧力が加わりました。しかし、ドイツのGDP成長率が予想を上回ったこともあり、利回りは概ねレンジ内での推移となりました。

ドイツ10年国債利回りの推移

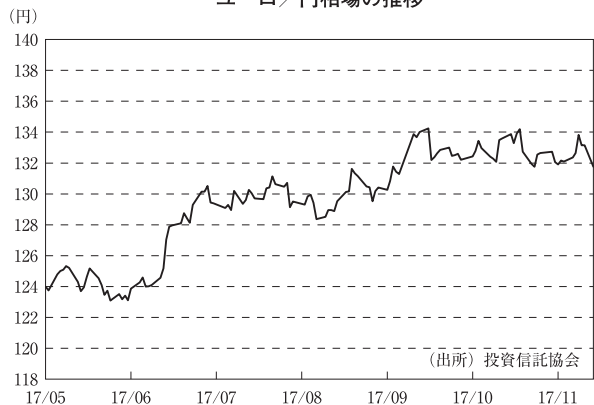


社債セクターは、ドイツの株式相場が前期末比で上昇したことなどに支えられ、社債スプレッド（国債に対する上乗せ利回り）は縮小しました。

資産担保証券（ABS）／モーゲージ証券（MBS）市場については、ABS市場はやや軟調となりましたが、MBS市場については堅調となり、スプレッドも縮小しました。

当作成期のユーロ・円相場は、ユーロ高・円安となりました。期の前半は、ECBが想定よりも早く量的金融緩和の縮小を決めるとの思惑が広がったことから、ユーロは対円で上昇しました。その後も、ECB理事会の議事要旨を受けて緩和縮小観測が高まったことなどから、ユーロ買い・円売りが優勢となりました。期の半ばは、北朝鮮情勢の緊迫化が意識されたことから、リスク回避目的のユーロ売り・円買いが優勢となる場面が見られました。しかし、その後は、北朝鮮情勢への警戒感が薄れたことや、ECBによる緩和縮小観測が改めて意識されたことなどから、ユーロ買い・円売りが強まりました。期の後半は、スペイン北東部カタルーニャ自治州の独立問題を受け、欧州の政治リスクを意識したユーロ売り・円買いがやや優勢となる場面も見られました。しかし、ドイツのGDP成長率が予想を上回ったことなどに支えられ、ユーロは対円で底堅く推移しました。

ユーロ／円相場の推移



当ファンドは、主に「LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主としてユーロ建ての欧州の国債、政府機関債、国際機関債、事業債、金融債、モーゲージ証券、資産担保証券等を中心に投資を行い、ユーロ短期金利水準に連動した安定的収益の確保を目指した運用に努めてまいりました。また、原則としてBBB-/Baa 3格以上の格付けの公社債へ投資し、ファンドに組入れる債券の平均格付をA-/A3格以上に保ち信用リスクの抑制を図る等、安定的な運用を目指しております。当ファンドの基準価額は、組入債券がユーロ建てで為替ヘッジを行わないため、ユーロ・円相場の変動の影響をそのまま反映しますが、ユーロベースの原資産は金利リスク（債券利回りの変動の影響を受けて、債券価格が変動するリスク）の低減に努め、安定性を重視した運用を行っております。当作成期の運用においては、引き続き高格付債券への投資比率を高位に保ちました。

分配金

(2017年5月19日～2017年11月20日)

分配金につきましては、基準価額動向や保有債券の利子収入等を勘案し、以下の通りとさせていただきます。なお、収益分配に充当しなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

| 項 目 | 第178期 | 第179期 | 第180期 | 第181期 | 第182期 | 第183期 |
|--------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|----------------------------|-----------------------------|
| | 2017年5月19日～ 2017年6月19日 | 2017年6月20日～ 2017年7月18日 | 2017年7月19日～ 2017年8月18日 | 2017年8月19日～ 2017年9月19日 | 2017年9月20日～ 2017年10月18日 | 2017年10月19日～ 2017年11月20日 |
| 当期分配金 (対基準価額比率) | 20 0.314% | 20 0.303% | 20 0.306% | 20 0.296% | 20 0.299% | 20 0.301% |
| 当期の収益 | 3 | 2 | 1 | 7 | 3 | 0 |
| 当期の収益以外 | 16 | 17 | 18 | 12 | 16 | 19 |
| 翌期繰越分配対象額 | 1,150 | 1,133 | 1,116 | 1,104 | 1,088 | 1,069 |

(注1) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
 (注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

当ファンドは、主としてユーロ建ての欧州の国債、政府機関債、国際機関債、事業債、金融債、モーゲージ証券、資産担保証券等を中心に投資を行うファンドです。今後も引き続き、組入債券の信用リスク、金利リスクに配慮しつつ銘柄を厳選し、運用に注力していく所存です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2017年5月19日～2017年11月20日)

| 項 目 | 第178期～第183期 | | 項 目 の 概 要 |
|------------------------|-------------|------------|---|
| | 金 額 | 比 率 | |
| (a) 信 託 報 酬 | 円 15 | % 0.220 | (a)信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 |
| （ 投 信 会 社 ） | (7) | (0.099) | 委託した資金の運用の対価 |
| （ 販 売 会 社 ） | (7) | (0.099) | 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 |
| （ 受 託 会 社 ） | (1) | (0.022) | 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価 |
| (b) 売 買 委 託 手 数 料 | 0 | 0.002 | (b)売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料÷作成期間の平均受益権口数 |
| （ 先 物 ・ オ プ シ ョ ン ） | (0) | (0.002) | 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| (c) そ の 他 費 用 | 2 | 0.031 | (c)その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数 |
| （ 保 管 費 用 ） | (0) | (0.007) | 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 |
| （ 監 査 費 用 ） | (0) | (0.005) | 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 |
| （ 印 刷 等 費 用 ） | (1) | (0.019) | 印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出に係る費用 |
| 合 計 | 17 | 0.253 | |
| 作成期間の平均基準価額は、6,589円です。 | | | |

(注1) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2017年5月19日～2017年11月20日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

| 銘 | 柄 | 第178期～第183期 | | | |
|----------------------|---|-------------|-----------|-----------|-----------|
| | | 設 定 | | 解 約 | |
| | | 口 数 | 金 額 | 口 数 | 金 額 |
| | | 千口 | 千円 | 千口 | 千円 |
| LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド | | 3,753,303 | 5,430,602 | 1,287,396 | 1,867,523 |

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2017年5月19日～2017年11月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第二種金融商品取引業を兼業している投資信託委託会社の自己取引状況

(2017年5月19日～2017年11月20日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2017年5月19日～2017年11月20日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2017年11月20日現在)

親投資信託残高

| 銘 | 柄 | 第177期末 | 第183期末 | |
|----------------------|---|-----------|-----------|-----------|
| | | 口 数 | 口 数 | 評 価 額 |
| | | 千口 | 千口 | 千円 |
| LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド | | 1,395,808 | 3,861,715 | 5,580,179 |

(注) 単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2017年11月20日現在)

| 項 目 | 第183期末 | |
|----------------------|-----------------|-----------|
| | 評 価 額 | 比 率 |
| LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド | 千円 5,580,179 | % 99.3 |
| コール・ローン等、その他 | 36,640 | 0.7 |
| 投資信託財産総額 | 5,616,819 | 100.0 |

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産(5,566,653千円)の投資信託財産総額(5,801,227千円)に対する比率は96.0%です。

(注3) 外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、11月20日における邦貨換算レートは、1ユーロ=131.76円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

| 項 目 | 第178期末 | 第179期末 | 第180期末 | 第181期末 | 第182期末 | 第183期末 |
|---------------------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| | 2017年6月19日現在 | 2017年7月18日現在 | 2017年8月18日現在 | 2017年9月19日現在 | 2017年10月18日現在 | 2017年11月20日現在 |
| | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 |
| (A) 資産 | 1,863,095,717 | 2,143,798,569 | 2,938,734,549 | 3,302,317,723 | 4,126,595,137 | 5,616,819,225 |
| LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド(評価額) | 1,862,506,166 | 2,138,523,955 | 2,937,638,665 | 3,266,287,424 | 4,113,504,335 | 5,580,179,086 |
| 未収入金 | 589,551 | 5,274,614 | 1,095,884 | 36,030,299 | 13,090,802 | 36,640,139 |
| (B) 負債 | 7,223,628 | 12,491,248 | 11,170,278 | 46,956,901 | 26,720,518 | 55,519,448 |
| 未払収益分配金 | 5,846,260 | 6,478,112 | 8,979,963 | 9,649,138 | 12,307,956 | 16,795,661 |
| 未払解約金 | 589,551 | 5,274,614 | 1,095,884 | 36,030,299 | 13,090,802 | 36,640,139 |
| 未払信託報酬 | 710,512 | 662,405 | 990,360 | 1,156,327 | 1,189,371 | 1,903,508 |
| その他未払費用 | 77,305 | 76,117 | 104,071 | 121,137 | 132,389 | 180,140 |
| (C) 純資産総額(A-B) | 1,855,872,089 | 2,131,307,321 | 2,927,564,271 | 3,255,360,822 | 4,099,874,619 | 5,561,299,777 |
| 元本 | 2,923,130,454 | 3,239,056,409 | 4,489,981,620 | 4,824,569,205 | 6,153,978,124 | 8,397,830,616 |
| 次期繰越損益金 | △1,067,258,365 | △1,107,749,088 | △1,562,417,349 | △1,569,208,383 | △2,054,103,505 | △2,836,530,839 |
| (D) 受益権総口数 | 2,923,130,454口 | 3,239,056,409口 | 4,489,981,620口 | 4,824,569,205口 | 6,153,978,124口 | 8,397,830,616口 |
| 1万口当たり基準価額(C/D) | 6,349円 | 6,580円 | 6,520円 | 6,747円 | 6,662円 | 6,622円 |

<注記事項>

(注1) 元本の状況

当作成期首元本額 2,972,961,510円

当作成期中追加設定元本額 8,128,999,117円

当作成期中一部解約元本額 2,704,130,011円

(注2) 元本の欠損

純資産総額が元本額を下回っており、その差額は2,836,530,839円であります。

○損益の状況

| 項 目 | 第178期 | 第179期 | 第180期 | 第181期 | 第182期 | 第183期 |
|------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|----------------------------|-----------------------------|
| | 2017年5月19日～ 2017年6月19日 | 2017年6月20日～ 2017年7月18日 | 2017年7月19日～ 2017年8月18日 | 2017年8月19日～ 2017年9月19日 | 2017年9月20日～ 2017年10月18日 | 2017年10月19日～ 2017年11月20日 |
| | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 |
| (A) 有価証券売買損益 | 3,843,378 | 72,501,250 | △ 22,105,926 | 112,435,444 | △ 32,612,692 | △ 23,247,484 |
| 売買益 | 4,626,110 | 73,659,395 | 339,556 | 118,262,123 | 2,990,530 | 881,826 |
| 売買損 | △ 782,732 | △ 1,158,145 | △ 22,445,482 | △ 5,826,679 | △ 35,603,222 | △ 24,129,310 |
| (B) 信託報酬等 | △ 787,817 | △ 738,522 | △ 1,094,431 | △ 1,277,464 | △ 1,321,760 | △ 2,083,648 |
| (C) 当期繰越損益金(A+B) | 3,055,561 | 71,762,728 | △ 23,200,357 | 111,157,980 | △ 33,934,452 | △ 25,331,132 |
| (D) 前期繰越損益金 | △ 878,239,521 | △ 864,087,445 | △ 769,999,124 | △ 709,726,558 | △ 445,241,678 | △ 446,413,204 |
| (E) 追加信託差損益金 | △ 186,228,145 | △ 308,946,259 | △ 760,237,905 | △ 960,990,667 | △ 1,562,619,419 | △ 2,347,990,842 |
| (配当等相当額) | (341,400,307) | (372,798,430) | (509,061,885) | (538,468,917) | (679,393,572) | (914,000,622) |
| (売買損益相当額) | (△ 527,628,452) | (△ 681,744,689) | (△ 1,269,299,790) | (△ 1,499,459,584) | (△ 2,242,012,991) | (△ 3,261,991,464) |
| (F) 計(C+D+E) | △ 1,061,412,105 | △ 1,101,270,976 | △ 1,553,437,386 | △ 1,559,559,245 | △ 2,041,795,549 | △ 2,819,735,178 |
| (G) 収益分配金 | △ 5,846,260 | △ 6,478,112 | △ 8,979,963 | △ 9,649,138 | △ 12,307,956 | △ 16,795,661 |
| 次期繰越損益金(F+G) | △ 1,067,258,365 | △ 1,107,749,088 | △ 1,562,417,349 | △ 1,569,208,383 | △ 2,054,103,505 | △ 2,836,530,839 |
| 追加信託差損益金 | △ 191,191,534 | △ 314,567,135 | △ 768,433,359 | △ 967,177,816 | △ 1,573,040,884 | △ 2,364,501,763 |
| (配当等相当額) | (336,437,935) | (367,235,301) | (501,125,833) | (532,630,710) | (669,785,707) | (897,895,602) |
| (売買損益相当額) | (△ 527,629,469) | (△ 681,802,436) | (△ 1,269,559,192) | (△ 1,499,808,526) | (△ 2,242,826,591) | (△ 3,262,397,365) |
| 繰越損益金 | △ 876,066,831 | △ 793,181,953 | △ 793,983,990 | △ 602,030,567 | △ 481,062,621 | △ 472,029,076 |

(注1) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として、委託者報酬のうち販売会社へ支払う手数料を除いた額の100分の50相当額を支払っております。

<分配金の計算過程>

| 決 算 期 | 第178期 | 第179期 | 第180期 | 第181期 | 第182期 | 第183期 |
|-----------------------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 |
| (A) 配当等収益(費用控除後) | 882,871 | 857,236 | 784,509 | 3,461,989 | 1,886,491 | 284,740 |
| (B) 有価証券売買等損益 (費用控除後、繰越欠損金補填後) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| (C) 収益調整金 | 341,401,324 | 372,856,177 | 509,321,287 | 538,817,859 | 680,207,172 | 914,406,523 |
| (D) 分配準備積立金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 分配対象収益額(A+B+C+D) | 342,284,195 | 373,713,413 | 510,105,796 | 542,279,848 | 682,093,663 | 914,691,263 |
| (1万円当たり収益分配対象額) | (1,170) | (1,153) | (1,136) | (1,124) | (1,108) | (1,089) |
| 収益分配金 | 5,846,260 | 6,478,112 | 8,979,963 | 9,649,138 | 12,307,956 | 16,795,661 |
| (1万円当たり収益分配金) | (20) | (20) | (20) | (20) | (20) | (20) |

○分配金のお知らせ

| | 第178期 | 第179期 | 第180期 | 第181期 | 第182期 | 第183期 |
|------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 1 万口当たり分配金 (税込み) | 20円 | 20円 | 20円 | 20円 | 20円 | 20円 |

◇分配金をお支払いする場合

分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◇分配金を再投資する場合

お手持り分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰入れて再投資いたします。

◇分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により普通分配金と元本払戻金（特別分配金）にわかれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。

◇元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

<LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド>

下記は、LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド全体(3,988,495千口)の内容です。

外国公社債

(A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

| 区 分 | 第183期末 | | | | | | | |
|--------|--------|--------|-----------|------|-----------------|-----------|------|------|
| | 額面金額 | 評 価 額 | | 組入比率 | うちBB格以下 組入比率 | 残存期間別組入比率 | | |
| | | 外貨建金額 | 邦貨換算金額 | | | 5年以上 | 2年以上 | 2年未満 |
| | 千ユーロ | 千ユーロ | 千円 | % | % | % | % | % |
| ユーロ | | | | | | | | |
| フランス | 1,990 | 2,508 | 330,560 | 5.7 | — | — | 5.1 | 0.6 |
| オランダ | 5,700 | 5,769 | 760,217 | 13.2 | — | — | 1.2 | 12.0 |
| ベルギー | 800 | 809 | 106,644 | 1.9 | — | 1.9 | — | — |
| アイルランド | 1,000 | 1,002 | 132,084 | 2.3 | — | — | — | 2.3 |
| その他 | 25,230 | 26,307 | 3,466,298 | 60.1 | — | — | 49.2 | 10.9 |
| 合 計 | 34,720 | 36,398 | 4,795,804 | 83.2 | — | 1.9 | 55.5 | 25.9 |

(注1) 邦貨換算金額は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

| 銘柄 | | | 第183期末 | | | | 償還年月日 |
|--------------------------|---------------------|--------------------------|--------|---------|-----------|-----------|------------|
| | | | 利率 | 額面金額 | 評価額 | | |
| | | | | | 外貨建金額 | 邦貨換算金額 | |
| ユーロ | | | % | 千ユーロ | 千ユーロ | 千円 | |
| フランス | 普通社債券 (含む投資法人債券) | CREDIT AGRICOLE SA | — | 1,300 | 1,813 | 239,008 | 2020/2/2 |
| | | LVMH MOET HENNESSY V FRN | — | 280 | 280 | 37,006 | 2018/11/26 |
| | | RCI BANQUE SA FRN | 0.321 | 410 | 413 | 54,545 | 2021/4/12 |
| オランダ | 普通社債券 (含む投資法人債券) | COOPERATIEVE RABOBANK UA | 1.75 | 1,000 | 1,023 | 134,855 | 2019/1/22 |
| | | DAIMLER FINANCE FRN | 0.271 | 1,900 | 1,918 | 252,824 | 2019/11/13 |
| | | ING BANK NV | 1.25 | 500 | 514 | 67,835 | 2019/12/13 |
| | | SHELL INTL FIN FRN | 0.071 | 1,600 | 1,611 | 212,319 | 2019/9/15 |
| | | UNILEVER NV FRN | — | 700 | 701 | 92,383 | 2018/6/3 |
| ベルギー | 普通社債券 (含む投資法人債券) | KBC GROUP NV FRN | 0.222 | 800 | 809 | 106,644 | 2022/11/24 |
| アイルランド | 普通社債券 (含む投資法人債券) | GE CAPITAL EURO FUND FRN | 0.071 | 1,000 | 1,002 | 132,084 | 2018/6/19 |
| その他 | 普通社債券 (含む投資法人債券) | ASB FINANCE LTD | 0.5 | 1,200 | 1,215 | 160,099 | 2020/6/17 |
| | | AUST & NZ BANKING GROUP | 5.125 | 1,100 | 1,200 | 158,239 | 2019/9/10 |
| | | BERKSHIRE HATHAWAY | 0.5 | 900 | 912 | 120,176 | 2020/3/13 |
| | | COLGATE-PALMOLIVE CO FRN | — | 700 | 703 | 92,647 | 2019/5/14 |
| | | COMMONWEALTH BANK AUST | 1.625 | 1,000 | 1,022 | 134,778 | 2019/2/4 |
| | | DANSKE BANK A/S | 0.75 | 1,800 | 1,838 | 242,295 | 2020/5/4 |
| | | DNB NOR BANK | 3.875 | 1,700 | 1,877 | 247,432 | 2020/6/29 |
| | | EXPORT-IMPORT BK KOREA | 2.0 | 800 | 837 | 110,288 | 2020/4/30 |
| | | GOLDMAN SACHS GROUP FRN | 0.669 | 900 | 921 | 121,430 | 2021/7/27 |
| | | LLOYDS TSB BANK | 6.5 | 1,600 | 1,836 | 241,945 | 2020/3/24 |
| | | NATIONAL AUSTRALIA B FRN | 0.241 | 1,000 | 1,015 | 133,823 | 2021/4/19 |
| | | NATIONAL AUSTRALIA BANK | 2.0 | 1,100 | 1,166 | 153,697 | 2020/11/12 |
| | | NORDEA BANK AB | 4.0 | 1,600 | 1,772 | 233,497 | 2020/6/29 |
| | | NYKREDIT FRN | 0.241 | 660 | 664 | 87,489 | 2022/6/2 |
| | | NYKREDIT REALKREDIT AS | 0.375 | 1,300 | 1,310 | 172,678 | 2020/6/16 |
| | | PKO BNK POLSKI (PKO FIN) | 2.324 | 1,800 | 1,849 | 243,690 | 2019/1/23 |
| | | ROYAL BK OF SCOTLAND FRN | 0.101 | 500 | 502 | 66,256 | 2020/6/8 |
| | | SANTANDER CONSUMER BANK | 0.375 | 1,800 | 1,813 | 238,923 | 2020/2/17 |
| SKANDINAVISKA ENSKIL FRN | 0.271 | 1,000 | 1,014 | 133,644 | 2020/5/26 | | |
| SPAREBANK 1 SMN FRN | 0.171 | 770 | 776 | 102,345 | 2020/11/9 | | |
| SPAREBANK 1 SR BANK | 2.125 | 1,000 | 1,048 | 138,088 | 2020/2/3 | | |
| WELLS FARGO & CO FRN | 0.169 | 1,000 | 1,008 | 132,828 | 2022/1/31 | | |
| 合 | 計 | | | | | 4,795,804 | |

(注1) 邦貨換算金額は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

先物取引の銘柄別期末残高

| 銘柄 | | | 第183期末 | |
|----|--------|---------------------|--------|-------|
| | | | 買建額 | 売建額 |
| 外国 | 債券先物取引 | ドイツ国債(2年) 2017.12限月 | 百万円 | 百万円 |
| | | | — | 2,366 |

(注1) 邦貨換算金額は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 単位未満は切捨て。

LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド

運用状況のご報告

第15期 決算日 2017年2月20日

(計算期間：2016年2月19日～2017年2月20日)

－ 受益者のみなさまへ －

法令・諸規則に基づき、「LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド」の第15期の運用状況をご報告申し上げます。

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

| | |
|-------------|--|
| 商 品 分 類 | 親投資信託 |
| 信 託 期 間 | 無期限 |
| 運 用 方 針 | 1. 主としてユーロ建ての欧州の国債、政府機関債、国際機関債、事業債、金融債、モーゲージ証券、資産担保証券を中心に投資を行い、ユーロ短期金利水準に連動した安定的収益の確保を目指します。 2. 原則として、投資を行う公社債はBBB-/Baa3格以上の格付けを有するものとし、又、コマーシャル・ペーパー、譲渡性預金等については、A2/P2格以上の格付けを有するものとします。 |
| 主 要 運 用 対 象 | 国債、政府機関債、国際機関債、事業債、金融債、モーゲージ証券、資産担保証券等 |
| 組 入 制 限 | 外貨建資産への投資には制限を設けません。 |

○最近5期の運用実績

| 決算期 | 基準 | 価額 | | 債組入比率 | 債券率 | 債先物比率 | 債券率 | 純資産額 |
|-----------------|--------|----|------|-------|-----|-------|-----|-------|
| | | 騰落 | 中率 | | | | | |
| | 円 | | % | | % | | | 百万円 |
| 11期(2013年2月18日) | 13,445 | | 20.8 | 93.6 | | △20.2 | | 7,109 |
| 12期(2014年2月18日) | 15,156 | | 12.7 | 97.0 | | △30.3 | | 4,849 |
| 13期(2015年2月18日) | 14,817 | | △2.2 | 88.6 | | △6.3 | | 3,583 |
| 14期(2016年2月18日) | 13,852 | | △6.5 | 94.3 | | △4.4 | | 2,906 |
| 15期(2017年2月20日) | 13,133 | | △5.2 | 97.1 | | △3.7 | | 2,170 |

(注1) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注2) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率及びリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

| 年月日 | 基準 | 価額 | | 債組入比率 | 債券率 | 債先物比率 | 債券率 |
|--------------------|--------|----|-------|-------|-----|-------|-----|
| | | 騰落 | 率 | | | | |
| (期首) 2016年2月18日 | 円 | | % | | % | | % |
| | 13,852 | | — | 94.3 | | △4.4 | |
| 2月末 | 13,549 | | △2.2 | 95.3 | | △4.4 | |
| 3月末 | 13,948 | | 0.7 | 93.9 | | △4.0 | |
| 4月末 | 13,563 | | △2.1 | 91.2 | | △4.1 | |
| 5月末 | 13,515 | | △2.4 | 101.6 | | △4.2 | |
| 6月末 | 12,507 | | △9.7 | 98.4 | | △3.8 | |
| 7月末 | 12,660 | | △8.6 | 97.9 | | △3.8 | |
| 8月末 | 12,591 | | △9.1 | 97.1 | | △3.9 | |
| 9月末 | 12,421 | | △10.3 | 99.2 | | △4.0 | |
| 10月末 | 12,603 | | △9.0 | 98.2 | | △4.1 | |
| 11月末 | 13,113 | | △5.3 | 89.2 | | △4.1 | |
| 12月末 | 13,436 | | △3.0 | 97.0 | | △3.7 | |
| 2017年1月末 | 13,335 | | △3.7 | 96.7 | | △3.7 | |
| (期末) 2017年2月20日 | | | | | | | |
| | 13,133 | | △5.2 | 97.1 | | △3.7 | |

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

○運用経過

期中の基準価額の推移

(2016年2月19日～2017年2月20日)



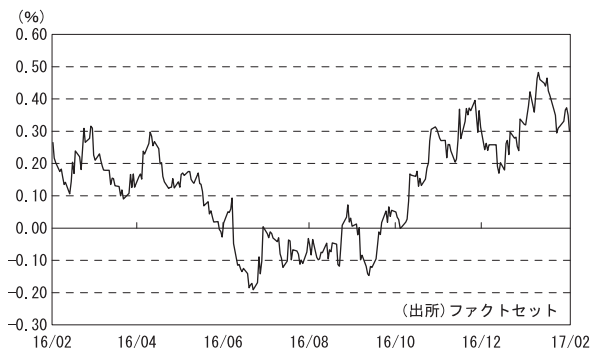
○基準価額の主な変動要因

当期末（2017年2月20日）のLM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド（以下、当ファンド）の基準価額は13,133円となりました。当期の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）はマイナス5.2%、基準価額は719円下落しました。

公社債利金を手堅く確保しましたが、ユーロ・円相場がユーロ安・円高となったことから、為替損益はマイナスとなりました。公社債損益についても、マイナスとなりました。

当期の欧州債券市場では、短中期債利回りが低下（価格は上昇）する一方、長期債利回りは若干上昇（価格は下落）しました。期の前半は、原油価格や株式相場が上昇し、投資家のリスク回避姿勢が和らいだことから、債券売りが優勢となり、利回りは一時上昇しました。しかしその後は、欧州中央銀行（ECB）総裁が先行きの追加緩和に前向きな姿勢を示したことや、英国の欧州連合（EU）離脱の是非を問う国民投票への警戒感が強まったことなどから、利回りは低下しました。期の半ばは、英国国民投票で予想に反してEU離脱が決定し、欧州景気の先行き懸念から株式相場が下落したことから、利回りは低下しました。しかしその後は、株式相場が反発したことから、利回りは下げ止まりました。さらに、ECBが量的金融緩和の終了前に緩和の規模を縮小するとの思惑が浮上したことなどから、利回りは上昇しました。期の後半は、米大統領選挙でのトランプ氏勝利を受けて財政拡大観測から米回国債利回りが大きく上昇した影響で、ドイツの国債利回りは上昇しました。その後も、原油価格の上昇を受けて将来のインフレ圧力の高まりが意識されたことなどから、利回りは上昇基調となりました。

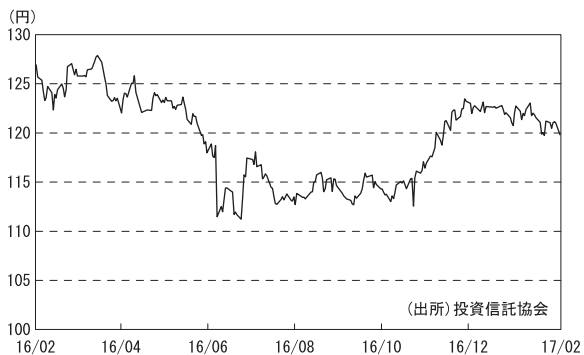
ドイツ10年国債利回りの推移



社債セクターは、堅調となりました。当期は、株式相場が上昇したことなどを背景に、社債スプレッド（国債に対する上乗せ利回り）は縮小しました。資産担保証券（ABS）／モーゲージ証券（MBS）市場については、期の前半から半ばにかけて、スプレッドは縮小しましたが、期の後半には拡大し、前期末に比べてほぼ横這いとなりました。

当期のユーロ・円相場は、ユーロ安・円高となりました。期の前半は、原油価格や株式相場が上昇し、リスク回避姿勢が和らいだことから、ユーロ買い・円売りが一時優勢となりました。しかしその後は、日銀が市場の期待に反して追加緩和の見送りを決定し、主要通貨に対し円高が進行する中、ユーロも対円で下落しました。さらに、英国のEU離脱を巡る懸念を背景にリスク回避姿勢が強まったことから、ユーロ売り・円買いが強まりました。期の半ばは、英国のEU離脱決定を受けて欧州経済の先行き懸念が強まったことから、ユーロ安・円高が進みました。その後、株式相場の反発を受けてリスク回避姿勢が和らいだことから、ユーロは対円で下げ止まりましたが、大手独銀行の経営不安が浮上したことなどから、概ね上値の重い展開となりました。期の後半は、米大統領選の結果を受けて主要先進国の株式相場が上昇し、為替市場全般でリスク回避姿勢の後退に伴う円売りが強まったことから、ユーロは対円で上昇しました。ただし、期末にかけては、利益確定の動きが見られたことなどから、ユーロは伸び悩みました。

ユーロ／円相場の推移



当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、主として、ユーロ建ての欧州の国債、政府機関債、国際機関債、事業債、金融債、モーゲージ証券、資産担保証券等を中心に投資を行い、ユーロ短期金利水準に連動した安定的収益の確保を目指した運用に努めてまいりました。また、原則としてBBB-／Baa3格以上の格付けの公社債へ投資し、ファンドに組入れる債券の平均格付をA-／A3格以上に保ち信用リスクの抑制を図る等、安定的な運用を目指しております。当ファンドの基準価額は、組入債券がユーロ建てで為替ヘッジを行わないため、ユーロ・円相場の変動の影響をそのまま反映しますが、ユーロベースの原資産は金利リスク（債券利回りの変動の影響を受けて、債券価格が変動するリスク）の低減に努め、安定性を重視した運用を行っております。当期の運用においては、引き続き高格付債券への投資比率を高位に保ちました。

○今後の運用方針

欧州経済については、ECBによる量的金融緩和策の継続等を受け、景気は次第に回復に向かうものと期待されます。

金融政策については、ECBは2016年12月の理事会で量的金融緩和策の延長と同時に、緩和策の規模縮小を決定しました。ECBは今後も、景気および物価の動向をにらみながら、慎重な金融政策運営を継続すると予想されます。

社債セクターについては、底堅い展開が予想されます。緩和的な金融政策等により欧州経済は緩やかな回復基調を辿りつつあり、社債セクターを下支えすると予想されます。ABS／MBSセクターについては、欧州景気の緩やかな回復を背景に、投資対象として相対的に魅力があると思われることから、社債セクター同様、底堅い展開が予想されます。

こうした環境下、当ファンドはこれまでと同様に、組入債券の信用リスク、金利リスクに配慮しつつ銘柄を厳選し、引き続き運用に注力していく所存です。

○1万口当たりの費用明細

(2016年2月19日～2017年2月20日)

| 項 目 | 当 期 | | 項 目 の 概 要 |
|---------------------------------|---------------|-----------------------|---|
| | 金 額 | 比 率 | |
| (a) 売 買 委 託 手 数 料 (先物・オプション) | 円 0 (0) | % 0.001 (0.001) | (a)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| (b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) | 2 (2) | 0.013 (0.013) | (b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 |
| 合 計 | 2 | 0.014 | |
| 期中の平均基準価額は、13,103円です。 | | | |

(注1) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2016年2月19日～2017年2月20日)

公社債

| | | | 買 付 額 | 売 付 額 |
|--------|------|----------------|-------|------------------|
| | | | 千ユーロ | 千ユーロ |
| 外 国 | ユーロ | | | |
| | フランス | 社債券(投資法人債券を含む) | 1,000 | 1,107 (700) |
| | オランダ | 社債券(投資法人債券を含む) | 1,554 | 718 (1,800) |
| | その他 | 社債券(投資法人債券を含む) | 4,528 | 4,161 (2,500) |

(注1) 金額は受渡し代金。(経過利息分は含まれておりません。)

(注2) 単位未満は切捨て。

(注3) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注4) 社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

先物取引の種類別取引状況

| 種 類 別 | | 買 建 | | 売 建 | |
|-------|--------|----------|----------|------------|------------|
| | | 新規買付額 | 決 済 額 | 新規売付額 | 決 済 額 |
| 外国 | 債券先物取引 | 百万円 — | 百万円 — | 百万円 661 | 百万円 701 |

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

(注3) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2016年2月19日～2017年2月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2017年2月20日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

| 区 分 | 額面金額 | 当 期 | | 組入比率 | うちBB格以下 組入比率 | 残存期間別組入比率 | | |
|--------|--------|--------|-----------|------|-----------------|-----------|------|------|
| | | 評 価 額 | | | | 5年以上 | 2年以上 | 2年未満 |
| | | 外貨建金額 | 邦貨換算金額 | | | | | |
| ユーロ | 千ユーロ | 千ユーロ | 千円 | % | % | % | % | % |
| フランス | 600 | 600 | 71,906 | 3.3 | — | — | — | 3.3 |
| オランダ | 3,990 | 4,051 | 485,402 | 22.4 | — | — | 7.2 | 15.1 |
| フィンランド | 1,400 | 1,431 | 171,458 | 7.9 | — | — | — | 7.9 |
| アイルランド | 1,000 | 1,003 | 120,266 | 5.5 | — | — | — | 5.5 |
| その他 | 10,360 | 10,509 | 1,259,105 | 58.0 | — | — | 23.3 | 34.8 |
| 合 計 | 17,350 | 17,595 | 2,108,140 | 97.1 | — | — | 30.5 | 66.6 |

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

(B) 外国(外貨建) 公社債 銘柄別開示

| 銘柄 | | | 当 期 末 | | | | 償還年月日 |
|----------------------|---------------------|--------------------------|-------|---------|-----------|---------|------------|
| | | | 利 率 | 額面金額 | 評 価 額 | | |
| | | | | | 外貨建金額 | 邦貨換算金額 | |
| ユーロ | | | % | 千ユーロ | 千ユーロ | 千円 | |
| フランス | 普通社債券 (含む投資法人債券) | BANQUE FED CRED MUTU FRN | — | 600 | 600 | 71,906 | 2017/3/23 |
| オランダ | 普通社債券 (含む投資法人債券) | BMW FINANCE NV FRN | 0.032 | 1,000 | 1,000 | 119,841 | 2017/4/4 |
| | | COOPERATIEVE RABOBANK UA | 1.75 | 1,000 | 1,037 | 124,265 | 2019/1/22 |
| | | ING BANK NV | 1.25 | 500 | 518 | 62,143 | 2019/12/13 |
| | | SHELL INTL FIN FRN | 0.084 | 790 | 794 | 95,138 | 2019/9/15 |
| | | UNILEVER NV FRN | — | 700 | 701 | 84,013 | 2018/6/3 |
| フィンランド | 普通社債券 (含む投資法人債券) | OP CORPORATE BANK PLC | 3.0 | 900 | 916 | 109,764 | 2017/9/8 |
| | | OP CORPORATE BANK PLC | 1.75 | 500 | 514 | 61,694 | 2018/8/29 |
| アイルランド | 普通社債券 (含む投資法人債券) | GE CAPITAL EURO FUND FRN | 0.084 | 1,000 | 1,003 | 120,266 | 2018/6/19 |
| その他 | 普通社債券 (含む投資法人債券) | COLGATE-PALMOLIVE CO FRN | — | 700 | 702 | 84,182 | 2019/5/14 |
| | | COMMONWEALTH BANK AUST | 1.625 | 1,000 | 1,034 | 123,947 | 2019/2/4 |
| | | CREDIT SUISSE GU CS | 2.875 | 600 | 630 | 75,523 | 2018/10/18 |
| | | JPMORGAN CHASE & CO FRN | 0.282 | 700 | 701 | 84,014 | 2017/6/12 |
| | | NATIONAL AUSTRALIA B FRN | 0.241 | 1,000 | 1,011 | 121,232 | 2021/4/19 |
| | | NORDEA BANK AB | 2.25 | 1,400 | 1,421 | 170,365 | 2017/10/5 |
| | | SKANDINAVISKA ENSKIL FRN | 0.286 | 1,280 | 1,297 | 155,447 | 2020/5/26 |
| | | SVENSKA HANDELSBANKEN AB | 2.25 | 500 | 516 | 61,872 | 2018/6/14 |
| | | TORONTO-DOMINION BAN FRN | — | 780 | 780 | 93,546 | 2017/6/16 |
| | | UBS AG LONDON | 0.5 | 1,200 | 1,210 | 145,060 | 2018/5/15 |
| WELLS FARGO & CO FRN | 0.172 | 1,200 | 1,201 | 143,914 | 2022/1/31 | | |
| 合 計 | | | | | 2,108,140 | | |

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

先物取引の銘柄別期末残高

| 銘柄 | | | 当 期 末 | |
|----|--------|----------------------|----------|-----------|
| | | | 買 建 額 | 売 建 額 |
| 外国 | 債券先物取引 | ドイツ国債 (2年) 2017.3 限月 | 百万円 — | 百万円 80 |

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2017年2月20日現在)

| 項 目 | 当 期 末 | |
|--------------|-----------|-------|
| | 評 価 額 | 比 率 |
| | 千円 | % |
| 公社債 | 2,108,140 | 97.1 |
| コール・ローン等、その他 | 62,610 | 2.9 |
| 投資信託財産総額 | 2,170,750 | 100.0 |

(注1) 金額の単位未満は切捨て。

(注2) 当期末における外貨建純資産(2,141,946千円)の投資信託財産総額(2,170,750千円)に対する比率は98.7%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2月20日における邦貨換算レートは、1ユーロ=119.81円です。

○特定資産の価格等の調査

(2016年2月19日～2017年2月20日)

該当事項はございません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2017年2月20日現在)

| 項 目 | 当 期 末 |
|-----------------|----------------|
| | 円 |
| (A) 資産 | 2,170,750,947 |
| コール・ローン等 | 52,632,750 |
| 公社債(評価額) | 2,108,140,769 |
| 未収利息 | 6,108,526 |
| 前払費用 | 86,165 |
| 差入委託証拠金 | 3,782,737 |
| (B) 負債 | 247,820 |
| 未払金 | 190,498 |
| 未払解約金 | 57,251 |
| 未払利息 | 71 |
| (C) 純資産総額(A-B) | 2,170,503,127 |
| 元本 | 1,652,757,654 |
| 次期繰越損益金 | 517,745,473 |
| (D) 受益権総口数 | 1,652,757,654口 |
| 1万口当たり基準価額(C/D) | 13,133円 |

<注記事項>

- (注1) 元本の状況
- | | |
|-----------|----------------|
| 期首元本額 | 2,098,136,235円 |
| 期中追加設定元本額 | 22,114,817円 |
| 期中一部解約元本額 | 467,493,398円 |
- (注2) 期末における元本の内訳
- | | |
|-----------------------------|----------------|
| LM・ユーロ毎月分配型ファンド | 1,492,685,780円 |
| LM・ユーロ短期債ファンドVA (適格機関投資家専用) | 160,071,874円 |

○損益の状況 (2016年2月19日～2017年2月20日)

| 項 目 | 当 期 |
|--------------------|--------------|
| | 円 |
| (A) 配当等収益 | 22,754,820 |
| 受取利息 | 22,727,406 |
| その他収益金 | 35,943 |
| 支払利息 | △ 8,529 |
| (B) 有価証券売買損益 | △175,293,373 |
| 売買益 | 6,688,549 |
| 売買損 | △181,981,922 |
| (C) 先物取引等取引損益 | △ 147,768 |
| 取引益 | 559,225 |
| 取引損 | △ 706,993 |
| (D) 保管費用等 | △ 326,757 |
| (E) 当期損益金(A+B+C+D) | △153,013,078 |
| (F) 前期繰越損益金 | 808,272,066 |
| (G) 追加信託差損益金 | 6,869,169 |
| (H) 解約差損益金 | △144,382,684 |
| (I) 計(E+F+G+H) | 517,745,473 |
| 次期繰越損益金(I) | 517,745,473 |

- (注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益および(C)先物取引等取引損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- (注2) 損益の状況の中で(G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注3) 損益の状況の中で(H)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。